

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：シニア活躍推進課

担当名：就業支援担当、雇用推進担当

内線：4539

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B48	シニア活躍アプローチ事業			一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	シニア活躍推進事業費	
事業期間	平成30年度～平成33年度	根拠法令	雇用対策法第5条			宣言項目	05 シニアの活躍推進		
						分野施策	030728 高齢者の活躍支援		
1 事業概要	<p>退職するサラリーマンに市町村と連携して、仕事や地域活動、ボランティアなどの相談窓口が記載された「シニア応援カード」を配付し、退職後の活動につなげる。また、40～50代の現役サラリーマンを「シニアライフ案内士」として養成し、同僚や自社への働き掛けを行い、第二の人生を有意義に過ごすための準備を支援する。</p> <p>(1) 退職するサラリーマンへの働き掛け △221千円                      (2) 現役サラリーマンへの働き掛け △618千円                      契約差金に伴う減及び事務経費節減による執行残の減額</p>			5 事業説明					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				<p>(1) 事業内容                      ア 市町村の国民健康保険窓口との連携により、退職者に「シニア応援カード」を配付する。また、シニア応援カードの内容について電話で相談に応じ、各窓口につなげる。                      イ ライフプランセミナーを行い、受講者を「シニアライフ案内士」として養成する。案内士は同僚や自社に働き掛け、第二の人生を有意義に過ごすための準備を支援する。また、業界団体・金融機関と連携したセミナーを実施する。</p> <p>(2) 事業計画                      ア シニア応援カードの配付                      電話相談窓口の設置 (通年)                      イ 「シニアライフ案内士」の養成 2,000人</p> <p>(3) 事業効果                      ア 退職するサラリーマンに相談窓口の紹介を通じて、退職後の活動につなげる。                      イ 40～50代の現役サラリーマンをシニアライフ案内士として養成し、同僚や自社に働き掛け、第二の人生を有意義に過ごすための準備を支援する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      市町村、                      業界団体、金融機関等と連携して実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要                      ア セミナー回数の見直し等により旅費が当初見込みを下回ったことによる減額                      イ 委託契約差金による減額                      ウ 事務経費の節減により生じた執行残の減額</p>					
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△839							△839	36,327
現計額	37,166							37,166	